

題 目	総 合	
-----	-----	--

※ 問題用紙は(その一)から(その五)までありますから、注意してください。  
 ※ 答えは、別紙の解答らんに入力してください。

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

① ハチは、あの長い触角で枯れ木をチヨンチヨンつつきながら歩いていましたが、そのうちに歩き方が急におそくなりました。まもなくその場に立ちどまってしまいます。なぜでしょうか？  
 触角で枯れ木をつついて歩くのは、卵を産みつけるところをさがしているのです。  
 いったい、この寄生バチの産卵に適したところとは、どういうところなのでしょう。  
 実は、ここが大切なところで、この皮の下、**A** 枯れ木の材の中に、自分の幼虫のえさになる、  
 何かがあるためでしょう。

みなさんもだんだんわかってきたと思いますが、このハチは、枯れ木の中にいる虫に、卵を産みつけようとしているのです。**B**、寄生バチが木の外から触角でつづいているのは、えさの虫のいるところをさがしているのにちががありません。

**C**、中にいる虫とは、どういう虫でしょうか。それはこの本でお話してきたカミキリムシやゾウムシなど、たくさん枯れ木の中でくらしている虫やその幼虫に、卵を産みつけているのだと思います。  
 それにしても、外からはまったく見えない幹の中に、虫がいることを、ハチはちゃんとわかるのですから、「超能力」といわなければなりません。

わたしたち人間にも、それに近い能力？はあります。やおやさんでスイカを買うとき、軽く指でたたきましょう。あれは、たたいたときの音や、ちょっとした指の感覚で、**②** 食べごろであるかないかを知るのです。

この寄生バチの場合は音で知るのがどうか、そのへんはまったくわかりません。別の昆虫は、幹の中にいる虫が材を食べる音でそれを知るといわれています。場合によっては、においも少しは関係あるかもしれません。

それにしても、太い幹の中にいる小さな虫を知るのですから、**③** ぶしぎな能力を持っていることだけは確かです。

このハチが、長い触角で幹をつづいているすがたは、わたしたちが真暗な中を手ざぐりで何かをさがしているのに似ています。触角は、途中から折れまがって、枯れ木に垂直にふれています。

そのまましばらくハチの動きを追っていくと、さらに歩くのがにぶくなり、触角でせまい範囲を、ていねいにつづくようになります。「この下に、虫がいるな」とでもいつているような動きに見えます。

そしていよいよ産卵するところを決めると、6本のあしでふんばり、何回か深呼吸でもするかのよう、腹部を大きくふります。つぎの瞬間、腹部をいっそう高く上げるため、細い腰のところから、からだのほとんど直角にまがります。そして腹の先を枯れ木に向け、針のように細い産卵管(産卵するためのくだ)を幹にさしこみます。

さて、ハチが**④** 産卵管を幹につき当てたときからが大変です。かたい枯れ木の中に、やわらかい産卵管をさしこむのですから、大変な苦勞です。

産卵管の先が少し枯れ木に入ると、腹(おしり)を左右にふったり、少し上下に動かしたりします。こんなことを、かなり長いあいだくりかえすことにより、産卵管も少しずつ入っていきます。そしてついに、あの長い産卵管がすつかり幹の中に入ると、腹の先が枯れ木に完全についてしまいます。

こうして産卵を終えるのですが、ここで少し考えてみましょう。

5

10

15

20

25

30

35

ハチが産卵するクヌギやコナラのなかまの幹は、特にかたくできています。まして枯れ木になると、一段とかたくなります。

わたしは、ために、ぬい針を力いっぱい枯れ木にさしこんでみましたが、数ミリほどしか入りません。ハチにくらべたら、わたしたちの力は大変大きいですし、針も金属でできているのに、ハチの40ようなわけにはいきません。

わたしには、⑤ そのなぞは解けません、ただ力だけではないことは確かでしょう。

⑥ こうした光景を見ていて、わたしは記録している手がとまるほど、かれらの行動に感動しました。

(有賀文章「アブラムシと天敵たち 食べるものと食べられるもの」(大日本図書)より)

問一 ◆ — 線① 「ハチは、あの長い触角で枯れ木をチヨンチヨンつつきながら歩いていました」とありますが、

1 このハチは何をさがしているのですか。次の文の空らんにあてはまる言葉を文章中から八字でぬき出して答えなさい。

・自分の  虫のいるところをさがしている。

2 1で答えたものをさがしているのはなぜですか。次の文の空らんにあてはまる言葉を文章中から七字でぬき出して答えなさい。

・枯れ木の中にある虫に  ため。

問二 ◆   にあてはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- |   |        |        |        |
|---|--------|--------|--------|
| ア | A たとえば | B なぜなら | C あるいは |
| イ | A ところで | B そして  | C だから  |
| ウ | A つまり  | B ですから | C それでは |
| エ | A しかし  | B ところが | C それで  |

問三 ◆ — 線② 「食べごろであるかないかを知る」とありますが、わたしたちは何を手がかりに、スイカが「食べごろ」かどうかを知るのですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- |   |              |   |              |
|---|--------------|---|--------------|
| ア | スイカの実の色やにおい  | イ | たたいたときの音や感触  |
| ウ | 見えないものをみる超能力 | エ | 中にある虫が実を食べる音 |

問四 ◆ — 線③ 「ふしぎな能力」とありますが、どのような点が「ふしぎ」なのですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| ア | においによって、えさの場所を見つけている点。   |
| イ | 長い触角を人間の手のように使っている点。     |
| ウ | 太くてかたい幹の中に、小さな虫がくらしている点。 |
| エ | 外からは見えないのに、虫のいる場所がわかる点。  |

問五 ◆ — 線④ 「産卵管」の特徴を次からすべて選び、記号で答えなさい。

- |   |     |   |       |   |    |   |    |   |    |   |    |
|---|-----|---|-------|---|----|---|----|---|----|---|----|
| ア | かたい | イ | やわらかい | ウ | 細い | エ | 太い | オ | 長い | カ | 短い |
|---|-----|---|-------|---|----|---|----|---|----|---|----|

問六 ◆ — 線⑤ 「そのなぞ」とは、どんななぞですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- |   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| ア | クヌギやコナラのなかまの幹が、枯れ木になると一段とかたくなるのはなぜか。 |
| イ | ハチが、枯れ木を触覚でチヨンチヨンつつきながら歩くのはなぜか。      |
| ウ | ぬい針も深くさしこめないような木に、ハチが産卵管をさしこめるのはなぜか。 |
| エ | 金属でできたぬい針を、枯れ木にさしこむことができなかつたのはなぜか。   |

問七◇ — 線⑥ 「こうした光景を見ていて、わたしは記録している手がとまるほど、かれらの行動に感動しました」とありますが、筆者はどんなことに感動しているのですか。適切なものを次から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 枯れ木の中にある虫の居場所を、触角を使って見つけられること。
- イ 金属でできている針でも、枯れ木にさしこむことができなかつたこと。
- ウ かたい木の中まで、ハチのわずかな力で産卵管をさしこむことができること。
- エ 幹の中にある小さな虫が材を食べるかすかな音を、正確に聞きわけていること。

2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

校門の近くまで来たときだ。  
「や、あれはなんだ？」  
と、ロクが声をひそめた。  
ロクの指さすほうを見たら、<sup>①</sup>ひとりの小学生をとりかこんで、四、五人の中学生たちが、ポケットに両手をつつこんで立っていた。ポプラの大木が四本、かたまりあつてはえる校庭の右手のすみだ。ぼくはさき立って、中学生たちのほうへ進んでいった。  
「こら、ちびども、キングヨのふんみたになんの用だ。」

いちばん目つきのわるいやつが、ぼくらを「1」ようににらみつけた。  
「どうしたんだ。」  
ぼくは、うつむいてまっさおな顔をしている、小学生の顔をのぞきこんだ。よくよく顔を見たら、六組のアオじゃないか。  
「なんだ、おまえか。」

ひどくがっかりしたみたいに、ジックなんかはもう帰ろうとしてるんだ。  
村尾真一<sup>まこと</sup>つてのがアオの本名さ。おとうさんが大学の先生だそうだけど、くわしいことはだれも知らない。だけどそんなことはどうだっていいんだ。あんまりだれともつきあわないで、青い顔で勉強ばかりしてて、ずばぬけてできるから、みんながそんな名でよんでるだけさ。

「帰ろう。」  
ぼくはアオのうでをひっぱった。アオも中学生たちも「2」ようにぼくの顔をのぞきこんだ。  
「でかい顔するじゃねえか。」  
ずんぐりむつくりしたやつが、すこみをきかせて、ぼくをにらんだ。  
「ちび、ひつこんでろ、ちび。」

となりの男がいった。ジックが、その男の横にひよいと立った。  
「な、なにしやる！」  
中学生たちは、びくつとして、こぶしをかためて身がまえた。

<sup>②</sup>ぼくらはくつくつわらつた。ジックは、中学生より十センチほど背が高かつたのさ。  
「どうしたつてのさ。」  
と、ロクがアオにきいた。

アオはいまにもふるえだしそうで、だまつたまままだ。話したくても、声にならないんだ。  
「こんなにとろんこにしやがつて。」  
ずんぐりむつくりのズボンをして、となりの男がいった。アオのやつ、中学生たちにはねをひっかけちまつたらしい。どじなやつ。

でも、そんなことは、雪どけのあとじゃよくあることなんだ。  
<sup>③</sup>「ちえつ。」

と、ぼくは思わずいつちまつた。  
「なんだ、てめえら、さつきからだまつてりや、その気になりやがつて。やい、ちび、なめんじやないよ。え、ちび、さつさと帰るな。それともいっばつくらわされたいのか、どうなんだ、ちび——。」

そりや、ぼくはちびさ。でもね、こうちびの安売りをされたんじや、ぼくもちつとは頭にきちやうよ。ずんぐりむつくりがまだなにかをいつてるまに、ぼくはみんなにぴかぴかまつまばたきすると、思いきりバンヤツと、目の前の水たまりにとびこんだ。

みんなはもちろんばつと逃げたけど、まぬけの中学生たちはまともにとろ水を頭からかぶつて、赤んぼうみみたいな悲鳴をあげた。ところがさ、どろ水はアオにまでも、かかつてしまつたんだな。

35

40

45

50

55

60

65

ちまっとかわいそうだったけど、同情してもど  
うにもならないしね。ま、なぐられたり、※く  
つじよくてきな気持ちになるよりはいいと思う  
んだ。

70

中学生たちがうろたえてるあいだに、ぼくは、  
アオの手をぐんぐんひっぱって、みんなといっ  
しよに、うしろも見ないで逃げてしまった。

中学生たちが、なにかどなってたけど、そん  
なのきいてるひまないよ。ぼくらは、ろじをく  
ねくね迷路のように走って、もう安心だと思っ  
たあたりで、ビルのかべに背をもたせかけ、大  
きくはっはっ息をしながら、④おなかのいた

75

くなるまでわらっちゃった。

ゆかいなことに、アオまでが、からだをよじ  
らせてわらってたんだ。ぼくらはそれを見て、

80

⑤また、いつそうわらったんだ。だけど、アオ  
のやつ、どろんこ道の走りかたも知らないらし  
くて、はねが首すじあたりにまで点々とついて  
るんだ。かわいそうに、帰ったら、おふくろさ  
んからだいぶしぼられるぞ。きつと。

85

(後藤竜二「天使で大地はいっぱいだ」〈講談社〉  
より)

※ くつじよく……めいよを失い、はずかしい思いをす  
ること

問一 ◆ 1・2 にあてはまる言葉として最も適当なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア がっかりした      イ おどろいた      ウ おどかす      エ 安心した

問二 ◆ 1 線① 「ひとりの小学生」とは、だれのことですか。最も適当なものを次から選び、記号で答え  
なさい。

ア ロク      イ ぼく      ウ ジック      エ 村尾真一

問三 ◆ 1 線② 「ぼくらはくつくつわらった」とありますが、何をわらったのですか。最も適当なものを  
次から選び、記号で答えなさい。

- ア すごみをきかせている、ずんぐりむっくりした中学生のズボンが、どろんこになっている様子。
- イ 四、五人の中学生たちが、よつてたかつて、たつたひとりの小学生をいじめている様子。
- ウ 「ぼく」に「ちび」といった中学生たちが、自分たちより背の高いジックにおびえる様子。
- エ 中学生たちに囲まれて、うつむいているアオが、名前の通り、まっさおな顔をしている様子。

問四 ◆ 1 線③ 「『ちえつ。』と、ぼくは思わずいつちまった」とありますが、このときの「ぼく」の気  
持ちとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 勉強ばかりしているだけでどじなアオのことを、ばかにする気持ち。
- イ 中学生たちがささいなことで腹を立てていることにあきれる気持ち。
- ウ 何度も何度も「ちび」とくりかえしいわれて、くやしく思う気持ち。
- エ アオのせいでめんどろなことに巻き込まれたと、不満に思う気持ち。

問五 ◆ 1 線④ 「おなかのいたくなるまでわらっちゃった」のはなぜですか。適当なものを次から二つ選  
び、記号で答えなさい。

- ア ろじをめちゃくちゃに走ってきて、もう中学生たちは追いかけてこないだろうと、安心したから。
- イ どろはねが首すじあたりにまで点々とついてる、アオのまぬけなすがたがおもしろかったから。
- ウ どろ水をかぶった中学生が、悲鳴をあげたり、うろたえたりしたことが何ともゆかいだったから。
- エ まばたきの合図をしたのに、どろ水をかぶってしまったアオのどじなところがおかしかったから。

問六 ◆ 1 線⑤ 「また、いつそうわらったんだ」とありますが、それはなぜですか。「ほとんどだれとも  
つきあわず、勉強ばかりしているアオまでが、」に続く形で、三十字以内で答えなさい。

問七④ この文章から読み取れる「アオ」と「ぼく」の人物像として適当なものを次から二つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- |   |             |   |        |   |       |
|---|-------------|---|--------|---|-------|
| ア | 弱いものいじめをきらう | イ | 図々しい   | ウ | おくびよう |
| エ | ようりょうが悪い    | オ | 行動力がある | カ | いじわる  |

3④ 次の各問いに答えなさい。

問一④ ——線部のカタカナを漢字に直すとき、正しいものを下から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- |   |                       |       |       |
|---|-----------------------|-------|-------|
| 1 | 夏休みに学校のプールの市民にカイホウする。 | (ア 解放 | イ 開放) |
| 2 | またお会いするキカイを楽しみにしています。 | (ア 機械 | イ 機会) |
| 3 | 知り合いに貸した本がカエる。        | (ア 返  | イ 帰)  |
| 4 | 体が冷えたので、アツイスープを飲む。    | (ア 暑  | イ 熱)  |

問二④ 次の熟語の組み立てについて説明したものを後から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- |   |                        |   |    |   |    |
|---|------------------------|---|----|---|----|
| 1 | 冷水                     | 2 | 前後 | 3 | 急速 |
| ア | 似たような意味の漢字を組み合わせたもの。   |   |    |   |    |
| イ | 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの。 |   |    |   |    |
| ウ | 上の漢字が下の漢字を修飾する関係のもの。   |   |    |   |    |
| エ | 上の漢字が主語、下の漢字が述語の関係のもの。 |   |    |   |    |

問三④ 次の□に漢字を入れて、四字熟語を完成させなさい。

- |   |      |   |      |
|---|------|---|------|
| 1 | 異□同音 | 2 | 不□実行 |
|---|------|---|------|

4④ 次の——線部を漢字に直しなさい。送りがなが必要な場合は、ひらがなで正しく書きなさい。

- |   |                  |    |                     |
|---|------------------|----|---------------------|
| 1 | ソウコの荷物を運び出す。     | 2  | 三月になってあたたかいキコウになった。 |
| 3 | 空き地に大きな家をタテル。    | 4  | スパーでコムギコを買う。        |
| 5 | バスに乗りおくれでトホで行く。  | 6  | 地域の避難クンレンに参加する。     |
| 7 | 文章から不要な言葉をハブク。   | 8  | けがをしたうでにハウタイをまく。    |
| 9 | いつせいにみんなの視線をアビル。 | 10 | 戦争の記憶をシソソに語りつぐ。     |